



LFA

157号
2023年4月

最新情報は
HPからどうぞ!



光友会ホームページ
<http://www.lfa.jp>

2022年度

イキイキチャレンジ活動

について

社会福祉法人光友会では各職場が職場改善を目的に、創意工夫を凝らしたテーマを掲げた「イキイキチャレンジ活動」を実施しています。この活動の根底には、基本理念の3つの目標「1, 地域福祉の核機能を果たす 2, 障がい者への差別と偏見の除去 3, 平和は福祉の基本・福祉は平和のシンボル」を自分たちが日々の業務の中から考え実践する事です。今回の発表大会でイキイキ大賞受賞された在宅支援センターをはじめ参加事業所全部が自ら出した課題にチャレンジした内容は質も自信もアップしていると感じました。活動を続けることで自然と自分たちのレベルが上がっていることは、評価者の方々からのお言葉からも明らかです。今後もこの活動を継続して、利用者、入居者、地域住民の為に法人全体のポトムアップに繋がることを期待いたします。

教育訓練・KSM活動責任者 丸田 隆司



Index -もくじ-

- P1 イキイキチャレンジ発表大会 | P2 コラムあーいえばこーゆーかい⑤
P3 - 5 事業所だより | P5 新人紹介 | P6 光友会事業推進協議会だより

よろしくお願ひいたします

藤沢北地域福祉部 片山 睦彦



本年4月に、藤沢北地域福祉部の部門統括に就任しました片山です。

これまで40年間、藤沢市役所に勤務し、ほぼ後半は福祉現場に身を置く中で、光友会の皆さんには様々な場面でお世話になりました。ご縁あって、歴史ある光友会で働けることへの感謝と誇りを胸に、精一杯務めてまいります。

さて、現在国では、社会経済状況の変化に対応すべく、全世代型社会保障制度に向けた議論が進んでいますが、改革の基本理念には、重要なセンテンスがたくさん出てきます。

「能力に応じて全世代が支え合う」「個人の幸福とともに、社会全体を幸福にする」「制度を支える人材やサービス提供体制を重視する」、そして目指す方向性の一つには「地域共生社会の実現」が掲げられています。

藤沢市においても、包括的支援体制の整備に向けて、重層的支援体制整備事業を今年度から本格実施し、当法人も重要な役割を担っていますが、目指す先にあるのは、やはり「地域共生社会」です。いずれにしても、その実現に向けた重要な基盤は「地域福祉の推進」であり、一翼を担う主体として、社会福祉法人の使命や意義が問われる中、私たちには、時代のニーズに対応した、きめ細かで質の高いサービス提供と、多様化する生活課題の解決に資する、地域公益事業の一層の充実が求められています。

その期待に応えるためには、「法人組織としてのソーシャルワーク機能」が重要で、職員の皆さんの知識や経験、スキルを財産として共有化できる組織文化と、各々が持ち味を発揮し、認め合い、助け合い、高め合える職場風土が鍵を握ります。

そんな観点から、利用者の皆さんも働く職員も、そして地域全体も幸せを実感できるような事業所・職場づくりと、地域福祉の推進と一緒に取り組ませていただければと思います。

あーいえばこーゆーかい 56

辞令交付式に想うこと

理事長 五十嵐 紀子

今年もまた桜の花が満開の時期が到来した。毎年巡ってくるこの季節は、多くの日本人の心を浮き立たせる。そして今年はこちらこちらで花見が楽しまれている。私もかつてウォーキングを日課にしていた頃、毎日のように歩いていた引地川の川沿いに咲く桜を見ながら歩く季節は、独り独りで笑みがこぼれたものだった。横浜市境にある境川べりの桜も美しかった記憶がある。夫 光雄が亡くなって11年が経ち、境川の方への散歩は全くしなくなり、3年前の腰椎の圧迫骨折後は引地川沿いの散策も出来なくなってしまい、現在は送迎の車の中から美しく咲いた桜の花を眺めて、昔を懐古している日々である。

さて、桜のシーズンには出逢いと別れが沢山ある。当法人でも藤沢市太陽の家の「しいの実学園」の園児達が今年もまた卒園した。私は、可愛いらしくまた、

活発に動き回っていた子供達を各々の小学校へ送り出す寂しさを感じるが、その子達は小学校に入学し、また新しいお友達を沢山つくって楽しい学校生活を送る事を考え子供の成長を祈って自分の気持ちに区切りをつける毎年である。

それと同時に職員の辞令交付式がある。新入職員として、新卒でお迎えする職員、中途入職で今迄別の仕事を、或いは別の職場で働いていた方をお迎えするケース、また、定年となられた方、または御自分の意志で他の職場へ移られる方、様々な立場で当法人の会場へ集合する。

ここでも何本かの桜が花びらをひらひら散らせて、それらの職員をお出迎えをしている。そして、辞令交付の後、新職員に対し、毎年 法人の成り立ちから今日に至る迄の歩みについてお話しをさせて戴くのが慣わしである。

私が年に一度こうしたお話をしたからと云って、どれだけの新職員さんの心に留まるのだろうか考える事もある。

しかし、これを続けて46年経った事を考えると、本当に長い間の繰り返しだが当法人の歴史を1年ずつ延ばして行く事に繋がり、それが各種事業の中での支援に繋がっている事を思う時、私にとって何ものにも代え難い感動を覚える1日となる。

事業所だより

藤沢サンライズ

ちょっとした楽しみ

3月3日のひな祭りですが、献立がちらし寿司でした。これはこれで普段のメニューより少し豪華な夕食になったのですが、ちょっと物足りないなあと思いでザートにケーキはどうか、と考えました。



いつも購入しているケーキ屋さんに行った所、期間限定のケーキがあり、可愛い男雛と女雛でした。男性利用者には男雛のケーキ、女性利用者には女雛のケーキをご用意させて頂き「可愛い！美味しい！」と高評価を頂きました。皆さんも来年のひな祭りで召し上がってみてはどうでしょう。

藤沢サンライズ 近藤洋嗣

いそご地域活動ホームいぶき

いぶきの家新年会

1月29日いぶきの家で新年会が行われました。メニューはお寿司やうなぎ。それぞれがご自分の食べたいものをリクエストし、種類豊富にデザートも準備。好きなものを存分に楽しんでいただいた時間となりました。



改めて、以前のように、一堂に会しておしゃべりしながら食事を楽しむ時間を取り戻したいと感じたひと時でした。

いそご地域活動ホームいぶき 加古川昌子

ライフ湘南

ライフ湘南パン工房からのお知らせ



4月3日からピーナツクリームパン(110円)を新たに販売しました。

ピーナツの食感とクリームの甘さがマッチした商品で、子供から大人の方まで

美味しく食べて頂ける商品となっております。

ライフ湘南の店頭・わいわい市・バザー等で購入できます。皆様よろしくお祈いします。

ライフ湘南 小原忠則

寒川事業所

施設外就労

「マックスバリュ」で働いています！

マックスバリュはイオングループが展開するスーパーマーケットです。現在、事業所から徒歩5分の寒川中瀬店に寒川まち食堂の利用者4名が施設外の就労として参加しています。

作業内容として、店の入口に設置されている資源ごみ(缶・ペットボトル・食品トレイ等)回収ボックスの分別清掃を中心に、店内のトイレ・陳列棚の清掃も行っています。作業中はマックスバリュの制服を着ているので来店されるお客様からも声をかけられ接客をすることも多々あります。作業中はマックスバリュの一員として気が引き締まります。



この度マックスバリュ様のご厚意により光友会とコラボしたキャップを作っていただきました。利用者職員共々感謝でいっぱいです！マックスバリュジャケットとコラボキャップを被り日々頑張っています！



寒川事業所 加藤亮郎

湘南あっとほーむ・ひだまり

ひな祭りのティータイム

3月3日に、ひだまりでは午後のティータイムに入居者の皆さんとひな祭りを楽しみました。

最初は入居者のみなさんで「ひなあられ」を美味しく食べよう！というイベントでしたが、何となく物足りない気がして…。「そうか！お花が一輪もないねっ！」ということになり、イベントの直前に近くの花屋に行って、お花を用意しました。



きれいなお花を愛でながら、食べるひなあられやプチケーキのおいしさはひとしおで、入居者さんも職員も笑顔溢れる素敵な時間を過ごすことができました！

湘南あっとほーむ・ひだまり 高橋昌弘

事業所だより

湘南希望の郷

自治会お食事会

今年の自治会お食事会は2月22日に行われました。事前に入居者皆さんに何を食いたいか伺ったところ、「海鮮丼」が食いたい！との意見が多かったためお刺身たっぷりの海鮮丼に決定しました。



ご希望の中とろ、赤身、はまち、イカ、サーモン、鯛を全て丼にのせてみると…丼からはみ出るのではないかと思う位の豪華な海鮮丼が出来上がりました！ボリュームたっぷりの海鮮丼に皆さん思わず笑顔がこぼれます。「美味しい！」との声が沢山聞かれた大満足のお食事会となりました。

湘南希望の郷 榎千春

在宅支援センター

避難訓練を実施

湘南希望の郷ケアセンターと発達支援センターリエールは避難訓練を合同で実施しました。今回は両事業所ごとの避難誘導の確認や障害特性に沿った形での伝達方法や移動方法を検討し行ないました。



訓練は定期的に見直したり、防災グッズの点検や利用者への避難時の声掛けや文字での伝え方、不足なものはあるかの確認を職員間でも行ない、安全に避難できるよう常にブラッシュアップしていきたいと思えます。

在宅支援センター 石井健太

神奈川ワークショップ

ふじさわ観光名産品として認定されました

昨年11月18日に行われた「第7回ふじさわ観光名産品審査会」にて、かわうそ工房で作っている「クッキー」がふじさわ観光名産品として認定され、「かわうそサブレ」も引き続き認定されました。

2023年4月よりふじさわ観光名産品とし「かわうそサブレ」「クッキー」を引き続き販売させていただきますので今後共、宜しく願い致します。



神奈川ワークショップ 高野英夫

太陽の家しいの実学園

チューリップが咲いた！

3月18日に37名の年長児が、しいの実学園を卒園しました。

卒園式に向け、昨年12月に子どもたちが、チューリップの球根を植え、「卒園式までに咲かないかな」と首を長くして待っていましたが、卒園式には間に合わず…。でも、終業日には素敵なチューリップが咲いてくれました。



4月から、新年度がスタートします。子どもたちが植えたチューリップが、新しいお友だちを迎えてくれるでしょう。

しいの実学園 野間紀子

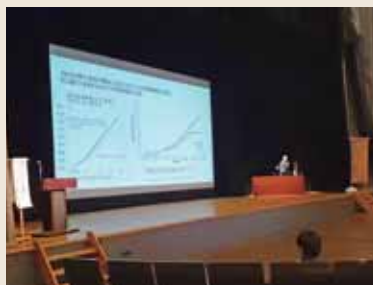
総合相談支援センター

～知ってわかる！認知症～

認知症 ALL ふじさわ合同ミーティング in 湘南台

3月16日に湘南台文化センター市民シアターホールにおいて、認知症普及啓発活動のイベントを行いました。

認知症専門医の内門大丈医師（メモリーケアクリニック湘南 院長）の講演をメインに「認知症とともに安心して暮らせるまちを考える」をテーマにしたパネルディスカッション、企業による認知症チェック体験会、認知症ご本人からのメッセージの紹介、湘南台地区で地域活動を行っている団体の発表などの内容でした。



来場者は約150人で湘南台地区の方々の認知症への関心の高さがうかがえました。

内門先生からは認知症の基本的な知識や、予防効果

のある活動についてデータをもとに話していただきました。2025年には65歳以上の5人に1人が認知症という時代になると予想されています。「認知症を自分ごととしてとらえること」の大切さを改めて感じました。

総合相談支援センター 大西剛

事業所だより

太陽の家藤の実学園

駅伝大会を開催しました！

3月3日に今年度最後の全体行事となる、駅伝大会を八部公園野球場にて開催しました。普段、野球場の中に入る機会はなかなか無いので、野球場に入ると、みなさん「わあっ、広い！」と喜ばれていました。今回は3年ぶりにご家族にも観客席から観戦して頂きました。班対抗にて競技を行いました。みなさん日頃の練習の成果を発揮して、精一杯球場を走っていました。優勝した班には大きな金メダルが贈られました。天候にも恵まれ、みんなで楽しい一日を過ごす事が出来ました。



藤の実学園 猪狩千弥

新人紹介

- ①今夢中になっている事
- ②実は私は〇〇なんです or 〇〇だったんです。

いそご地域活動ホームいぶき

- ①ワンピースのアニメを観ること
- ②スポーツ好きなんです



辛嶋 剛熙

いそご地域活動ホームいぶき

- ①ワンピース。1日1.5話ずつ観て追いかけてます
- ②今より10kg細身だったんです



大坪 沙倉

いそご地域活動ホームいぶき

- ①自作PCを組んでゲームをする
- ②ものすごく短気なんです



菊池 紅音

神奈川ワークショップ

- ①今、ドライブに夢中になってます
- ②すごく絵が下手なんです



秋元 奈穂美

神奈川ワークショップ

- ①ブドウを育てることと農業をすること
- ②1年半の試用期間だったんです



清水 崇

神奈川ワークショップ

- ①有機ワインに興味を持ち始めました
- ②犬好きなんです



清水 進

神奈川ワークショップ

- ①メイプル味のスイーツにはまっています
- ②昔を思い出してカーペンターズを聞いてます



山本 篤司

発達支援センターリエール

- ①韓流ドラマ鑑賞。2年程前から見始めました
- ②フラメンコが踊れるんです



伊藤 真由美

ライフ湘南

- ①長男の野球の応援をする
- ②アコースティックを弾けるんです



伊藤 彰子

ライフ湘南

- ①自炊にハマっています！
- ②湘南育ちなんです



前田 浩志

湘南希望の郷

- ①好きなアーティストのライブに行くこと
- ②6年間リレーの選手だったんです



中村 美柚

太陽の家藤の実学園

- ①アニメ・音楽鑑賞
- ②絵描きなんです



野田 翠

太陽の家藤の実学園

- ①ゲームをすることとアコギを弾くことです！
- ②甘い物大好きなんです



関沢 萌

太陽の家しいの実学園

- ①映画やドラマを見る
- ②ぬいぐるみが好きなんです



赤藤 拓海

太陽の家しいの実学園

- ①毛糸をかぎ針編みで編む
- ②軽音楽部でボーカルだったんです



岡野 花菜

太陽の家しいの実学園

- ①カフェ巡りをして美味しいものを食べる
- ②最初だけは超人見知りなんです



遠藤 舞

放課後等デイサービス太陽の家

- ①夢中になれるもの探しの夢中です
- ②可愛く撮ってて言っただけなんです



綿貫 朋信

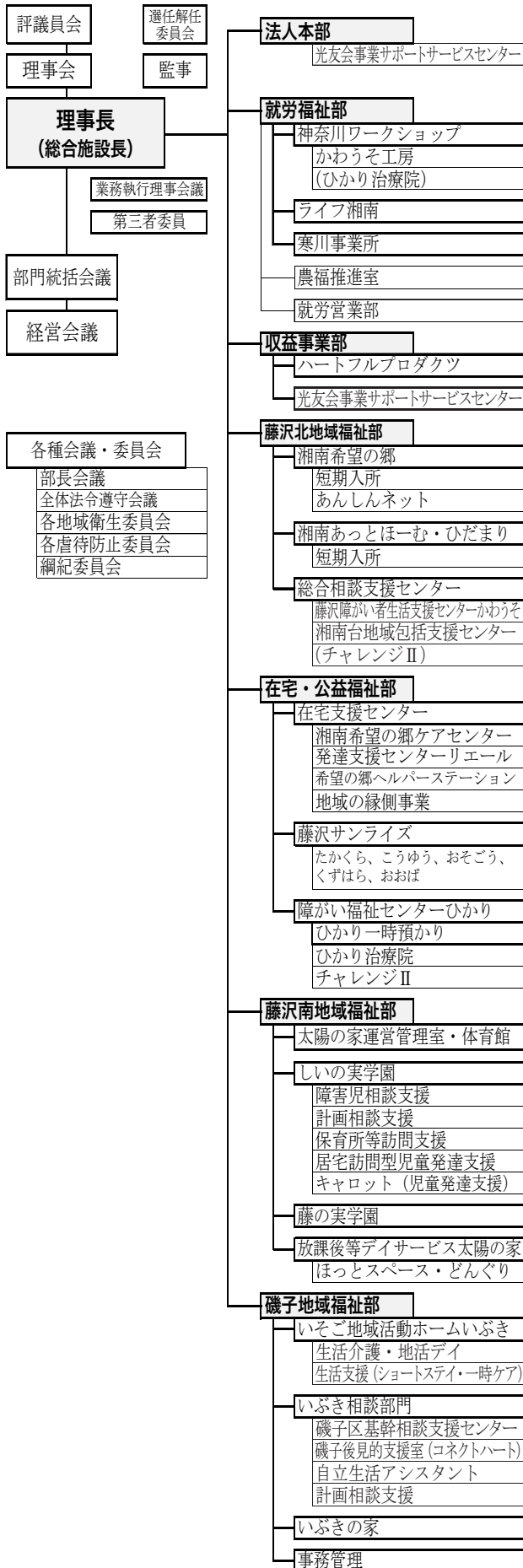
放課後等デイサービス太陽の家

- ①絵を描くこと
- ②身体を動かすことが好きなんです



佐藤 綺花

2023年度 光友会組織図



光友会事業推進協議会だより

四役会を2023年1月20日にWEBにて開催しました。

議案は

①年会費に関するアンケート途中集計について (66名中57名から回答有り)

設問1: 年会費は現在設定されている金額のままが良い
はい:19名 いいえ:36名 無回答:2名

設問1で「いいえ」と回答した方への設問…改定案で良いか
はい:29名 いいえ:6名 無回答:1名

以上の結果により、原案の改定案のまま総会に提案する予定です。その他のご意見等は総会資料としてお知らせする予定です。

②1月16日現在の会費農集状況について
納入会員数 269名、納入金額 1,234,000円

③推進協の新年度計画と予算案の作成について
会費の使い方を明確にするなど、勉強会等のあり方を含め協議しました。

アンケートの結果・ご意見等によりこれからの推進協のあり方などを含めた総会の議案づくりを進めていく予定です。

調整役 森 直人

編集後記

ウィズコロナの生活にも大分慣れ、「3年ぶり」という言葉をよく聞くようになりました。「以前のような生活を」と思いながらも、3年の間に経験した事、学んだ事、世の中に出た新商品などを活かす事で元通りの生活以上に、過ごしやすい生活をおくれる事もあるのかな?と思うと、これからの時代に期待を感じます。どんな状況でも、「楽しみ」を見つけながら生活していく事が大切だな、と思っています。(C.I.)

編集委員

五十嵐理事長、森 (法人本部)、井地・高野・辻本 (就労福祉部)、丸山 (藤沢北地域福祉部)、村井・大貫・石井 (在宅・公益福祉部)、猪狩・野間 (藤沢南地域福祉部)、松井・加古川 (磯子地域福祉部)

なお、本誌掲載の写真につきましては、本人、家族、または団体等の了解を得ています

季	刊	LFA 第157号
発行日		2023年4月
発行所		光友会
責任者		理事長 五十嵐 紀子
発行所		〒252-0825 藤沢市瀬郷1008-1
		社会福祉法人 光友会
		電話 0466-48-1500
印刷所		光友会 神奈川ワークショップ